

2002年5月22日

米国南部バプテスト連盟
理事長 J. メリット様

日本バプテスト連盟
常任理事会
理事長 安藤栄二
常務理事 山下誠也

私たちの主イエス・キリストのみ名を讃美します。

米国南部バプテスト連盟理事長の日本並びに日本バプテスト連盟事務所への訪問を歓迎します。私たちはこれまでの南部バプテスト連盟諸教会の日本バプテスト連盟諸教会への物心両面にわたる支援に心から感謝しています。また、両連盟によって福音を分かち合うこと、主イエスの名による福音宣教の協働を私たちは喜んでいきます。南部バプテストの宣教師の日本派遣は、彼らの福音宣教の働きだけではなく、その存在そのものが神の国のしるしであり、十分意味のあるものです。国外に派遣された宣教師は異文化と直接出会う経験を持つがゆえに他者を許容する成熟した信仰に至る機会をより多く持っています。

それゆえ、国際伝道局は宣教理念や宣教方策を形成するに当たって、宣教地の土着の教会ばかりでなく、宣教師たちの声に耳を傾けることが賢明です。この点に関して言えば、米国南部バプテスト国際伝道局の新しい宣教戦略が日本において少なからず問題を起こしていることに私たちは失望しています。

福音宣教において相互に耳を傾け合うことは相互の違いを受け入れ合うことでもあります。私たちは2000年に採択された「バプテストの信仰とメッセージへの変更」に対して以下のようないくつかの批判的見解を持っています。

- 1) 第6項 「教会」において、「男女両方が教会における奉仕のために賜物をいただいているが、牧師職は聖書によって条件づけられているように男性に制限される」と述べられているが、この主張は十分説得的ではない。私たちは女性の牧師を排除せず、むしろ喜んで受け入れる。よって、従来のように「聖書的職務は牧師と執事である」という告白のほうが良い。
- 2) また、1998年「修正」として第18項「家族」が追加され、「妻たる者は、教会がキリストの主権に喜んで服するように、彼女の夫の僕的主導権にありがたく服するべきである」と告白されている。確かに私たちはエペソ5：22 - 25

に類似の考え方があることを知っている。また、米国における「家庭崩壊」とも言える現象を耳にしている。しかし、聖書は神の啓示の中心であるイエス・キリストの解放の出来事から解釈されるべきであり、聖書に記述されたすべての命題を普遍妥当的に神の啓示とすべきではない。また、妻にことさら夫への服従を課すことは性差別に導く危険性がある。第3項「人間」も man という用語より、より包括的用語が用いられることが望ましい。

- 3) 上記の問題は私たちの信仰の基準である「聖書をどう理解するか」にかかっている。2000年の変更では「全聖書文書は、ご自身神の啓示の焦点であるキリストへの証言である」となっている。わたしたちはイエス・キリストが神の啓示の焦点であることに心から同意する。しかし、この告白は聖書の全文書、文字通りすべての文章がキリストを証するという内容を内包しており、この主張はすべてのバプテストが同意するにはあまりに狭い主張である。そえゆえ、1963年の「バプテストの信仰とメッセージ」の告白「聖書がそれによって解釈されるべき基準はイエス・キリストである」の方がはるかに望ましい。
- 4) 私たちは、2000年の「変更」が第15項「クリスチャンと社会秩序」において人種差別について明確に対決していることを高く評価する。しかし、同性愛と墮胎に関する律法主義的、原理主義的反対は問題を含んでいる。聖書のテキストはコンテキスト（文脈）において、そして倫理的判断は「原則」と「状況」の具体的出会いにおいて吟味されるべきであると信じる。

以上のように、米国南部バプテスト連盟の「2000年の変更」と私たち日本バプテスト連盟の信仰告白には明白な相違が存在します。その相違にもかかわらず、私たちは米国南部バプテストの諸教会に対し対話の道をいつも開いています。

個々の教会、個々人の信仰の自由を大切にすバプテストは、互いの違いを排除するためにではなく、共通の信仰を確認するためにできるかぎりなだらかな信仰告白を採用してきました。米国南部バプテスト連盟がこのバプテストの歴史的伝統をできる限り尊重するように私たちは希望しています。

米国南部バプテスト連盟理事長の日本バプテスト連盟への訪問が、新しい対話とこのようなバプテストの伝統の確認の機会となることを心から期待しています。